

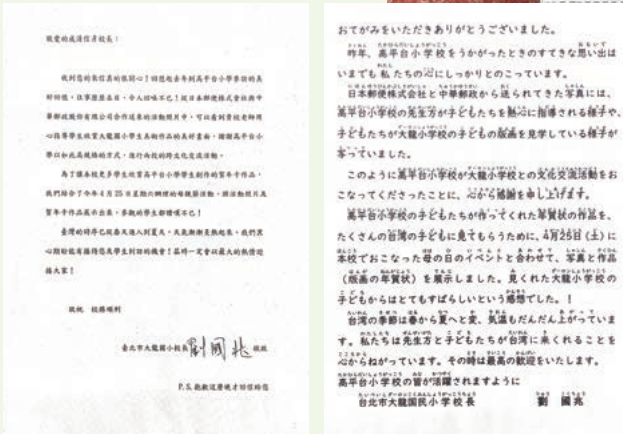
## 年賀状でおめでとう 高平台小

昨年6月に、台湾のみなさんが  
高平台小学校に来てくれました。

台北市の大龍国民小のみなさんは高平台小のみんなと一緒に日本の遊びを体験したり、給食を食べたりしました。

大龍国民小の引率をされた中に劉校長先生がいっしょいました。

日本で教育旅行を終えて帰国された後に高平台小の校長先生と手紙での交流が続いていました。



## FM791子ども新聞 9月号テーマは！



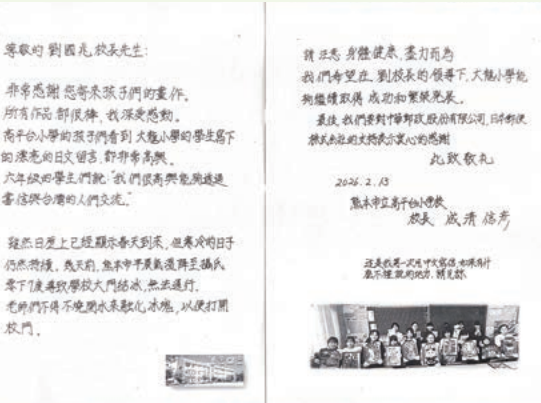
7月22日から夏休みがはじまります。プール、キャンプ、夏まつり、自由研究、読書など、やりたいことができる時間が、たくさんあります。みなさんは、何を楽しみにしていますか。学校、学年、PTA、地域、子ども会などで計画されていることがあればお知らせください。「楽しんで夏の思い出」として掲載させていただきます。

〒860-0804  
熊本市中央区幸島町8-23  
熊本シティエフェム  
「子ども新聞」係  
TEL : 096-323-6611  
FAX : 096-323-6622  
E-mail : radio-kids@fm791.jp

2月は春節（しゅんせつ）という台湾の正月です。日本郵便九州支社のご協力により、高平台小から版画の年賀状を送りました。大龍国民小からは年賀状及び版画の作品が届きました。年賀状には干支である午の版画とともに日本語や英語でのメッセージも書かれていました。豪華な額縁に入れてある版画の作品は25点もあり、図工室に大切にしまっています。数点ずつに分けて、校長室前の廊下に展示し、みんなで見ることにしています。

後日、大龍国民小において日本からの年賀状を校内に展示して、みんなで見学している様子の写真とお手紙をいただきました。

これからもお手紙などを通して、台湾との交流を続けていきたいと考えているそうです。



## 熊本市教育委員会の取り組み

### 1年目

1年目は、ホストファミリーとしてハイデルベルク市からの青少年交流団をホームステイで受け入れます。夏の熊本をいっしょに楽しんで過ごします。



ドイツについて  
「熊本市ドイツ  
国際交流員  
Daphne (ダフネ)さん」  
聞いてみました！

ドイツは、自然が豊かな国です。アルプスの近くでは、山・森・池など、ステキな景色がたくさんあります。自然を守るために、環境を大切にしている暮らしをしています。たとえば、野菜などの生ごみは「燃やすごみ」として出さず、土にかえる「資源」として別に集めています。



金峰山自然の家  
(ヤマガラビレッジ)で  
対面式

## ハイデルベルク市との 交流プログラム

### 熊本城を見学



火の国まつりおてもやん  
総おどり



日本の伝統・文化を  
体験

フェアウェル  
パーティー（送別会）



## オンラインでこんにちは 城北小

昨年度、城北小では台湾のみなさんと  
交流しました。

最初は城北小と台湾の先生の交流を8月19日にしました。台湾からは、11人の先生がいっしょいました。

学校の中を案内していると、いろいろな質問がありました。たとえば「なぜイスにテニスボールがはめてあるのか」「どのようにすればトイレのスリッパはキレイにならべられるのか」などです。



### 5年生



5年生 (83名) は10月23日に台湾の高雄市立旗山小学校と交流をしました。事前に全員がプレゼンを作成し、オーディションで選ばれた各クラスの代表3～5名が発表しました。テーマは「和の文化を発信しよう」でした。「和食」「習字」「四季」などの他、けん玉を見せてくれた人もいました。

台湾からは文化について教えてくれました。神様のお話では、体がやわらかいこと、たまごをお供えすることを知りました。

### 4年生



4年生 (64名) は11月27日に交流をしました。4年生のテーマは「日本を伝えよう」でした。グループで調べ、全員が発表しました。「うどんとそば」「おでん」など和食のこと、「習字」「校歌」など学校のことを伝えました。画面を見ながら、教室の同じところや違うところも発見しました。感想交流では全員が手をあげるほど楽しい時間となりました。

今年6月には、再び台湾の先生が城北小にいらっしゃいました。  
交流は、今年も続いています。

1992年、熊本市とドイツにあるハイデルベルク市は友好都市となりました。そこで1993年から両市の青少年による交流「熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業」が始まりました。交流のプログラムは、2年間が1セットです。

### 2年目



研修中



アドベンチャー  
パーク

ハイデルベルク城  
見学



集合写真



ハイデルベルク市  
訪問に向けて一言

日本との違いや共通点を発見することで、自分の価値観を広げたいです。ハイデルベルク市での体験が、私の助けとなり、成長へとつながるように活動していきます。

真和高校2年生  
深川鈴乃さん  
(碩台小学校出身)

来年は、新たな高校生の募集を行い、選考で参加者を決定します。みなさんも高校生になったらチャレンジしませんか。これまでの様子や参加した高校生の報告書はホームページで見てください。

検索 熊本市 ハイデルベルク市